

磐 梯 山 山 行 記 録



目的地	磐梯山（八方台登山口からピストン）	期 日	平成20年10月4日（土）：晴れのち曇り
山人	笠原正雄・澄子・斉藤昭英・芳子	特 記	紅葉期待の山行

地 点 名	時 刻	記 事
与 板 発	5:30	中之島から高速。ボンヤリしていて新潟中央JCを直進して村上方面に進んでしまふ。一度料金所を出て、中央JCへ戻り磐越道へ。阿賀野川SAでおこわ朝食。
八方台登山口 P	8:55 発	晴れ。広い駐車場。40～50 台ほど有り。セントラル観光のバスもあった。水洗トイレもある。立派な東屋で準備をする。昭英氏は新調靴のデビュー山行である。
中 の 湯	9:15	広くて気分の良いブナの道を緩やかに上り下りして廃屋となった旧温泉地に出る。温泉臭が漂っている。早稲田大学の若者7人が支度を整えながら休んでいた。
裏磐梯合流点	9:20	中の湯後やや急登となる。裏磐梯ルートから千葉からの夫婦、ヨシヤとレイコが先行していく。以後この2人と冗談会話を交わしながら前後して進む。
登 路 で 休 む	9:35	階段道とゴロゴロ岩の急登の途中、平坦地で数分休む。年配2人男が追い越して行く。
展 望 地	9:50	尾根右折点で展望が開ける。桧原湖、小野川湖、秋元湖が見下ろせる。振り向けばアルツ磐梯スキー場の山頂部が見える。前方に火山特有の地肌尾根の途中から噴煙が上がっている。
残 雪 を 見 る	10:15	再び登路左脇の好展望地に上る。少し隠れているが銅沼も見える。
お 花 畑 分 岐	10:25	八方台登山口から2.5 km。左へ0.2 kmでお花畑。右へ0.3 kmで弘法清水。お花畑は帰りによることにして右折する。
弘 法 清 水	10:35	山腹から引水されている。岡部小屋と清水小屋が広場にある。ヨシヤとレイコも上っていた。水を飲み広場を一回りして間もなく0.5 kmとある山頂へ向かう。急登で途中から隊がバラける。グループから遅れた男性がゆっくり登っている。
山 頂	11:05	灌木をぬけると山頂売店。その上部はゴロ岩の山頂。周囲が良く見下ろせるが、時折ガスが流れる。餅を焼き、湯を沸かしてカップそばで昼食。
下 山 開 始	12:05	山頂での後半からガスに覆われ展望がなくなる。カップ上衣を着る。
猪 苗 代 口 分 岐	12:40	小屋に降りれば暖くなるカップを脱ぐ。お花畑の紅葉を楽しみながら下る。途中、右へ降りる分岐を見送る。一人男が駆け足でそちらに下りて行った。
紅 葉 を 撮 る	12:50	往路に戻り、朝よりも紅葉がきれいに見えた。
中 の 湯	1:35	通行止めのロープを跨いで乳白色の源泉池に行ってみた。湧き出し口の温度は丁度良い湯加減であるが、湧き出し量は多く無く、その周囲以外は冷たい。
八 方 台 登 山 口	2:00 着	山頂下にもあったが、ここにも入山者カウンターが設けられていた。
喜 多 方 へ		ゴールドラインの往路を戻らず、先へ進み、桧原湖経由で喜多方へ。市内に入り道探しをしながら、ラーメン館へ行く。くるくる軒でラーメンと餃子を食べる。

5月の雲取山以降山へ出掛けないでいた妻とおよそ半年振りの山行である。その3日前に斉藤夫妻に連絡を取り、都合が合致して、4人での楽しい山行となった。夫妻と2ペアで歩くのも全く久しぶりである。我々は初めての磐梯山であるが、夫妻は2度目だ。一方、昭英氏は新調靴のデビューであって、丁度手ごろな山ではなかったかと思う。紅葉には少し時期が早いかもしれないと思ったが、標高が上るにつれて色づき始め、十分に楽しめた。やはり百名山である。大勢の人で賑わっていて、山頂も陣取れないのではないかもしれないと思ったが、好位置で過ごすことが出来た。ラーメンタイムが3時過ぎとなったせいか、期待ほど美味しくなかった。喜多方ラーメンは暫らくお休みしよう。